

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ランランランド		
○保護者評価実施期間	R8年1月5日		～ R8年2月28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	20	(回答者数) 18
○従業者評価実施期間	R8年1月5日		～ R8年 2月28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数) 8
○事業者向け自己評価表作成日	R8年 3月 25日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	医療的ケア児にも対応可能な看護師配置と支援体制が整っています	専門職不足および配置基準への対応の必要性	職員の人材確保および育成を強化し、専門職に依存し過ぎない体制づくりを進めていく 定期的な内部・外部研修も年間計画に盛り込んでいく
2	理学療法士によるリハビリ支援も取り入れることで、専門的かつ継続的な支援を提供出来る体制を整えております。	利用児の状態や特性に応じた個別対応を徹底している 医療的ケアが必要な児童にも対応可能な体制を整備している	多職種の情報共有ツールや会議の定例化により、スキル向上を図る必要がある。
3	看護師同行を基本とした送迎体制により、安全で安心して利用できる環境を確保している	毎回の細かい送迎ルートを作成して送迎を組んでいる	送迎体制については、安全性を確保した上で効率的な運用方法を検討し、可能な範囲で対応力の向上に努めて行きます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・専門職の配置状況により受け入れ人数が左右されること	・専門職不足および配置基準への対応の必要性が課題	・職員のスキル向上と多職種連携の強化
2	・学校時間帯に利用が集中することによる受け入れ調整の必要性がある	・学校終了後に利用が集中する時間帯の偏り	・利用時間の調整や受け入れ態勢の見直し
3	・送迎範囲の制限により利用対象が限定される	・安全面を重視した送迎体制の運用	・安全性を確保した送迎体制の効率化